ソープコントローラー取扱説明書

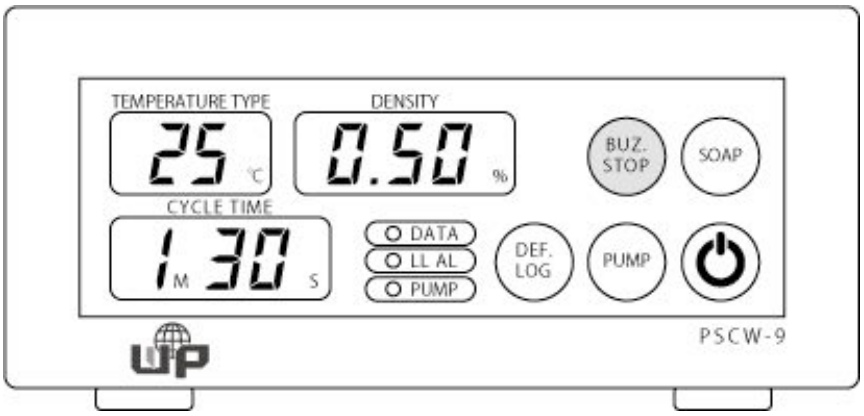
PSCW-9 USER'S MANUAL

ワイズプラント株式会社　〒123-0864　東京都足立区鹿浜6-13-8　tel 03-6913-3311　www.wiseplant.net

目次

このたびはワイズプラント社のソープコントローラーをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書をよく読み、安全にご使用ください。



使用上の注意 2

同梱内容 4

- 本体および部品 4
- その他 4
- オプション品（別売） 4
- 販売店の皆様へ 4

各部説明 5

- 本機前面 5
- 本機後面 6
- 電源コードの接続 7
- センサー部の取扱い 7

設置 8

基本的な取扱い 8

- 各モードの解説 8
- 運転モード 9
- ファイル切換モード 9
- データ採取モード 9
- データ入力モード 11
- SDカードからデータを取得する 13
- SDカードへデータを転送する 14
- キャリブレーションについて 14

消耗品について 14

使用上の注意 15

不具合が生じた場合 15

規格・仕様 16

製品保証書 17

使用上の注意

1. ご使用前に必ず本書をご一読いただき、正しくご使用ください。
2. 注意事項は「警告」と「注意」に大別しています。「警告」は死亡事故など重大事故に繋がる内容、「注意」は状況によって重大事故に繋がる可能性がある内容を記載しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載しておりますので、よく読んでご使用ください。

⚠ 警告 取り扱いを誤ると、死亡事故など重大な事故に繋がります。

⚠ 注意 取り扱いを誤ると、使用者が予期せぬ怪我を負う可能性があります。また、物損事故の可能性があります。

据付上の注意	
⚠ 警告	据付は販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事を行うと、据付不備による感電や漏電、火災、怪我、やけどの恐れがあります。
	据付工事は本書に従ってください。据付不備による感電や漏電、火災、怪我、やけどの恐れがあります。
	据付は水平な場所で、本体の荷重に耐える場所に行ってください。転倒や落下による怪我や物損事故の恐れがあります。
	電気工事は電気工事士の有資格者が「電気工事に関する安全基準」「内線規程」および本書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源容量不足や施工不備があると感電、火災の原因となります。
	アースを必ず設置してください。アースはガス管、水道管、避雷針、電話アースなどに接続しないでください。感電の原因となります。
	可燃ガスの漏れる恐れのある場所には設置しないでください。火災の原因となります。
	電圧変動の大きい場所への設置は行わないでください。感電や火災の原因となります。
⚠ 注意	装置を特殊な環境(温泉地や海岸地区など)に設置しないでください。腐食や感電、火災の恐れがあります。
	石油系溶剤以外には絶対に使用しないでください。

使用上の注意	
⚠ 警告	ドライ機の洗浄液中のソープ濃度が０．２５％以下になると洗浄液中の品物が静電気を帯び、洗浄液中の不純物などを繊維内に引き込んだり（再汚染）、静電気の火花が洗浄液に引火する（爆発）などの事故が起こる可能性があります。特にカートリッジフィルターやカーボンなどの濾材を交換した際、一時的に濾材が急激にソープを吸着するため、本機に接続されているソープ自動投入ポンプだけでは間に合わない（ソープを投入しているが、ソープ濃度が上がらない）ことがあります。このような場合、フィルター循環した状態で、以下の数値を参考にして予め手動投入を行ってください。 エレメント３００サイズ（１本あたり）・・・・・・・・・・・・・５～６L エレメント３４０サイズ（１本あたり）・・・・・・・・・・・・・５～６L エレメント３６０サイズ（１本あたり）・・・・・・・・・・・・・４～５L エレメント４５０サイズ（１本あたり）・・・・・・・・・・・・・６～７L エレメント４７０サイズ（１本あたり）・・・・・・・・・・・・・７～８L カーボン（２０Lあたり）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６～７L
	本体からソープまたは液体が漏れだした場合は、すぐに本機を停止し、当社または販売店のメンテナンスを受けてください。感電や火災の原因となります。
	データの採取・変更・入力は当社または販売店にご依頼ください。お客様自身で変更された場合のデータ不良、感度低下に伴う事故が発生した場合、当社では責任を負いかねます。
	装置を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
	装置を水で洗わないでください。感電の原因となります。

使用上の注意	
⚠ 警告	電気部に水をかけないでください。故障や感電の原因となります。
	本体の掃除を行う場合は、必ずコンセントを抜いてください。感電する恐れがあります。
	故障や焦げ臭いなどの異常を感じたら、運転を停止してブレーカを切り、専門業者または当社へ連絡してください。異常のまま運転を続けると、故障や感電、火災などの原因となります。
⚠ 注意	ソープと溶剤の組み合わせによっては、ソープがドライ機停止時（ベースタンク内に洗浄液が滞留しているとき）ソープが浮遊または沈殿し、センサーがソープ濃度を正確に判断できない場合があります。このため、ドライ機運転時（洗浄液が循環しているとき）以外は、必ず本機の自動制御をＯＦＦにしてください。
	本機オプションのソープ移送ポンプは、経年劣化により部品が磨耗・破損することがあります。必ず定期点検を受け、破損前に交換してください。また、万一、ポンプからソープが漏れた場合は、ただちに自動制御をＯＦＦにし、ご購入先の販売店または当社にメンテナンスをご依頼ください。

移設・修理時の注意	
⚠ 警告	修理は専門業者に依頼してください。修理に不備があると感電や火災の原因となります。
	改造は絶対に行わないでください。感電や火災の原因となります。
	装置の移動や再設置を行う場合は、専門業者または当社へ依頼してください。据付不備による感電や火災の原因となります。
	保護装置を短絡して強制運転を行わないでください。火災や爆発の原因となります。

同梱内容

1. 本体および部品

2. その他

本書（保証書付属）× 1

万一、欠品や破損などがございましたら、ご購入の販売店または当社までご連絡ください。

3. オプション品（別売）

ソープポンプキット

✤ポンプ本体

✤ガソリンチューブ 9x13x15m

✤ソープ吸入／吐出管

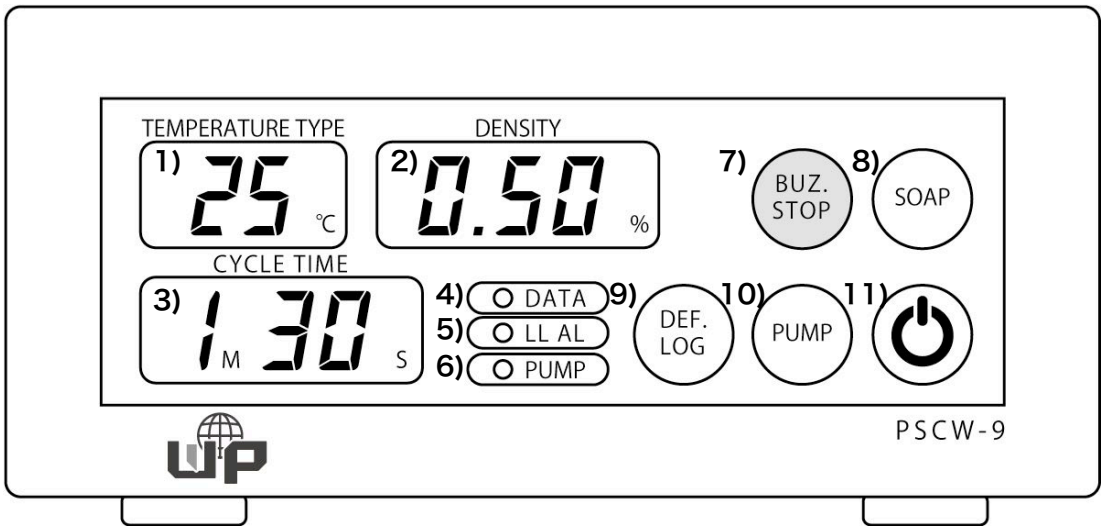
✤グロメット

4. 販売店の皆様へ

保証書は必ずご記入ください。記入漏れがあると、保証が受けられません。

各部説明

1. 本機前面



1) 溶剤温度

溶剤温度を表示します。

2) ソープ濃度

現在のソープ濃度をリアルタイムに表示します。ソープ濃度が高すぎて濃度測定が不可能なときは、"H−−" となります。

3) サイクルタイマー

一定時間で濃度を検知し、設定濃度に足りない場合、外部ポンプ出力（後述）を作動させます。

4) データ通信ランプ

PCと本機のデータ通信中、点滅します。

5) LLアラームランプ

危険低濃度以下になった場合、点灯します。

6) ポンプランプ

外部ポンプ出力作動中、点灯します。

7) ブザーストップキー

ブザー音を停止します。

8) ソープキー

押している間だけ、外部ポンプ出力を作動させます。

9) データログキー

SDカードからのデータ入力、SDカードへのデータ出力などに使います。

※詳細は後述。

10)ポンプキー

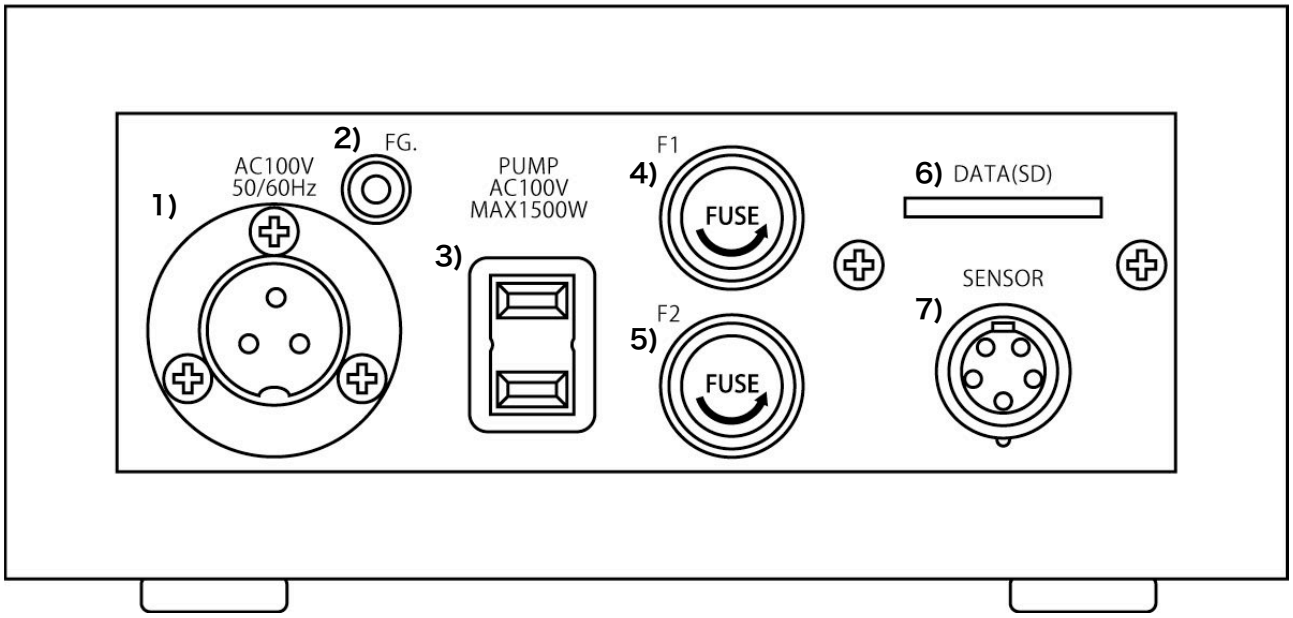
サイクルタイマーを作動させ、外部ポンプ出力を自動制御します。

＊ ON時LED点灯。OFF時消灯。

11)電源キー

本機の起動/停止を行います。

2. 本機後面



1) 電源コンセント

AC100V 50/60Hzの電源コンセントです。

2) アース

落雷の多い地域などは、ここから本機のアースを取ります。

3) 外部ポンプ出力

本機の制御に連動して、外部ポンプにAC100Vを供給します（MAX1500W）。

4) 本体ヒューズ

本体保護回路用ヒューズです。

5) 外部ポンプ用ヒューズ

外部ポンプ（後述）用のヒューズです。

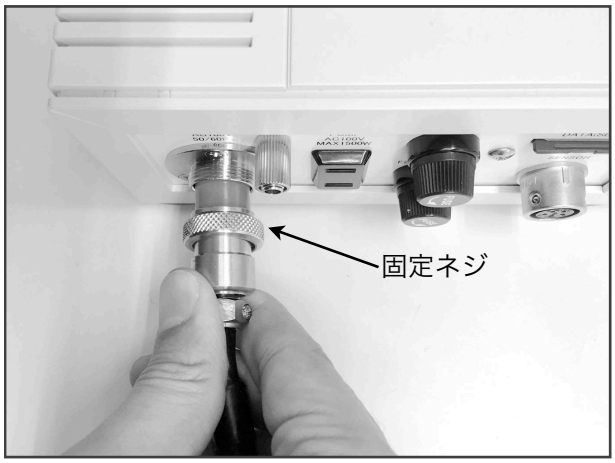
6) SDカードスロット

SD/SDHC/SDXCカードを挿入できます。

7) センサーポート

センサー部を取り付けるポートです。

3. 電源コードの接続



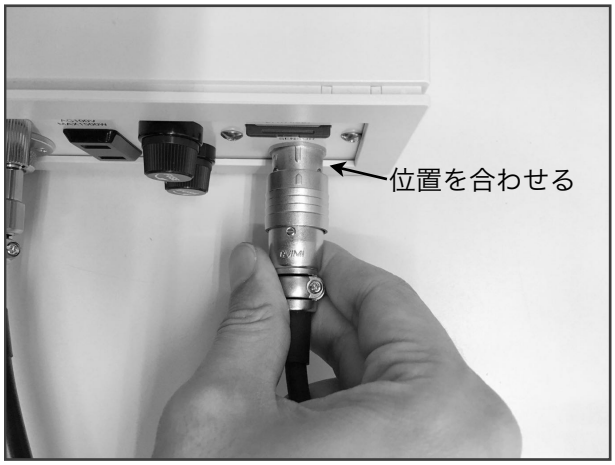
ジャックの位置を合わせて差し込み、固定ネジを手でシッカリと締めます。

4. センサー部の取扱い

1) 接続

a. 位置を合わせる

センサー部のジャックとポートの ジャックの根元を持ち、切り込み位置を合わせます。

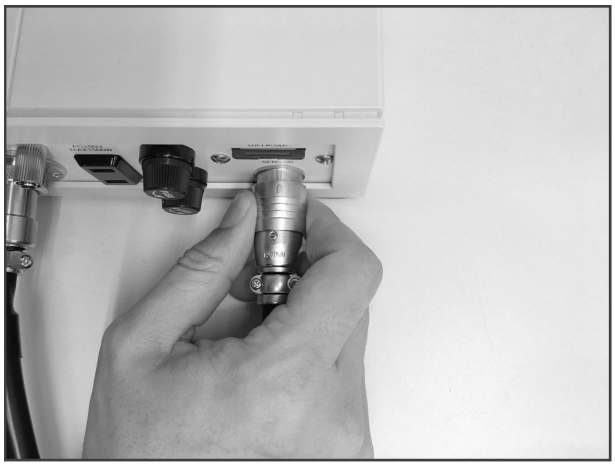


b. 奥まで差し込む

「カチッ」と音が鳴るまで差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。

c. 取り外し

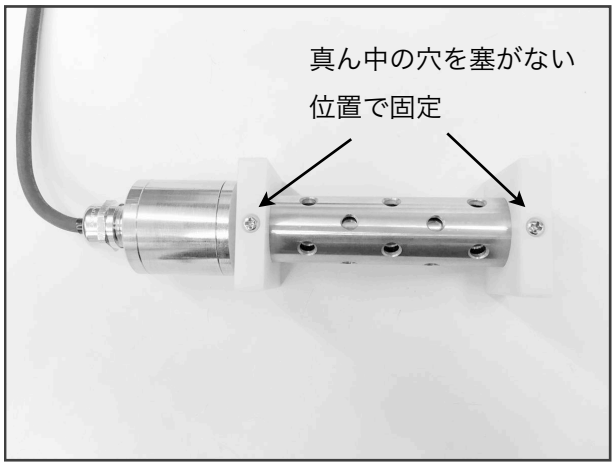
ジャックの滑り止めの位置を持ち、スライドさせながら引き抜きます。

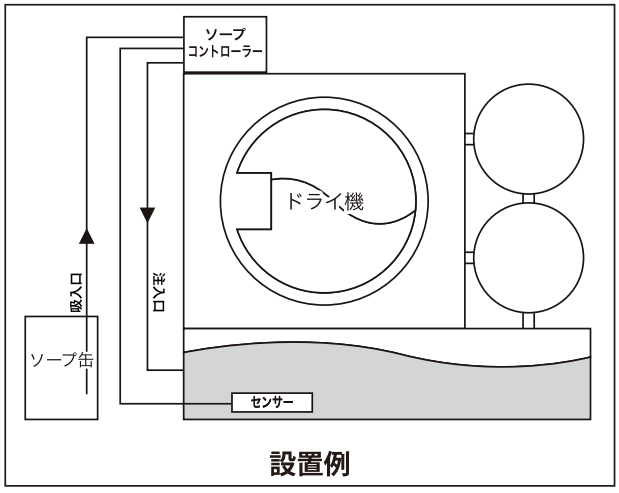


＊ 無理に引き抜かないでください。断線の原因となります。

2) センサーホルダー

センサー部にセンサーホルダーを取り付けます。ホルダー側面にホルダー固定用ビスが入っていますので、ホルダーが動かなくなる程度に締め付けて固定します。





設置例

設置

＊ 設置は専門業者に依頼して行うことをお薦めしています。

(1) 本機をソープ濃度が確認しやすい場所に置きます。

(2) センサー部をベースタンクに沈めます。

(3) ソープポンプを適当な場所に固定します。

(4) ソープポンプのコンセントを「外部ポンプ出力」に取り付けます。

(5) ソープ缶にゴミ除けのグロメットを取り付け、吸入管を差します。

＊ ソープ缶はベースタンクより高い位置に置かないでください。

(6) ポンプと吸入管、吐出管をガソリンチューブで配管します。

＊ 吸い込み長さは4m未満としてください。

(7) 本機のソープキーを押し、ソープが移送されることを確認します。

(8) ポンプキーを押し、自動制御状態にします。

基本的な取扱い

1. 各モードの解説

1) 運転モード

本機を通常起動すると運転モードとなります。本機を使用するためのモードです。

2) ファイル切換モード

データファイルを切り換えるモードです。本機には10種類のデータを入力することができます。

3) データ採取モード

ソープと溶剤の組み合わせによるデータ（アンプゲインデータ）を採取するためのモードです。

4) データ入力モード

採取したデータを入力するモードです。

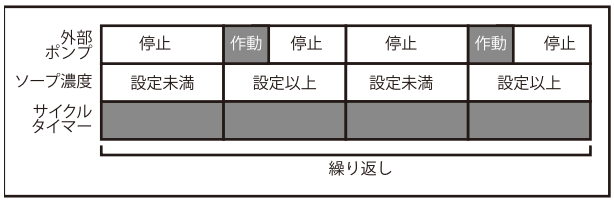
データの採取・入力・変更は当社または販売店にご依頼ください。ご自身で変更される場合は、感度、精度の低下およびそれに伴う事故の保証は一切できません。

1. 運転モード

本機を運転モードで起動すると、溶剤温度、ソープ濃度、サイクルタイマーを表示します。ポンプキーがONになっている（自動制御）と、サイクルタイマーがカウントダウンします。

❖ サイクルタイマーのしくみ

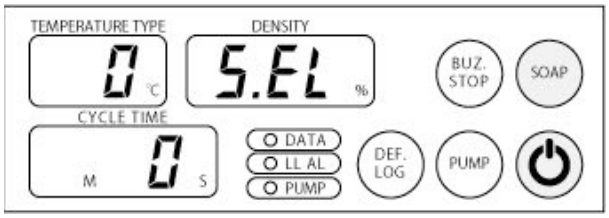
ソープを逐次投入すると、センサー感度と全体に混ざるまでの時間との間にタイムラグがあるため、設定よりも多めにソープが投入されてしまいます。また、ポンプの発停が増え、故障の原因となります。これらを避けるために、一定のサイクルタイムを設け、数十秒に1度、制御内で現在濃度を確認し、足りない場合に適量ソープを投入するシステムを採用しています。ソープ濃度、サイクルタイマー、外部ポンプ出力時間は任意に設定できます。



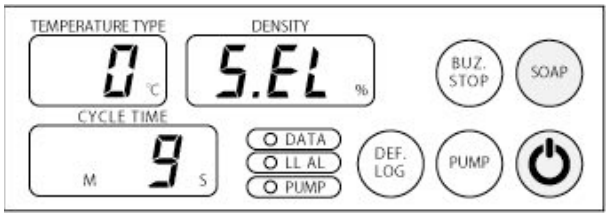
＊ データ入力モード参照。

2. ファイル切換モード

(1) ソープキーを押しながら起動するとファイル切換モードになります。

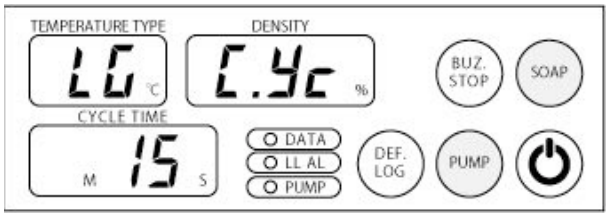


(2) ソープキーでファイルナンバーを０～９のいずれかに切り換え、ポンプキーで決定します。

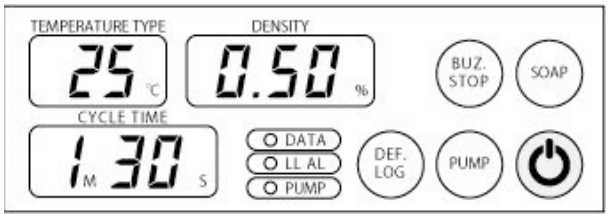


＊ 「0」と「1」には、予め任意のデータが入力されています。

(3) データログサイクルの設定です。「15」の場合は、毎時0分、15分、30分、45分に温度、濃度のデータを記録します。



(4) 再起動して運転モードに戻ります。



3. データ採取モード

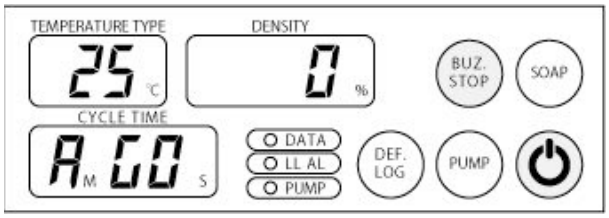
(1) データ採取前の準備

採取に必要な道具と記録用の表を準備します。

a. ビーカー（2Lサイズ）
b. 注射器（2ml用 ハリは不要）
c. AG表（本書18ページ）
d. ペン（記録用）
e. 溶剤新液（2L以上）
f. ソープ（20ml以上）

＊ 採取時の溶剤温度は出来る限り20℃となるようにしてください。温度が著しく高いまたは低い場合は、センサー感度に悪影響を及ぼす場合があります。

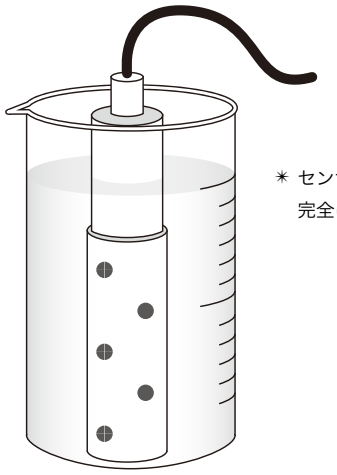
(2) ブザーキーを押しながら起動するとデータ採取モードになります。



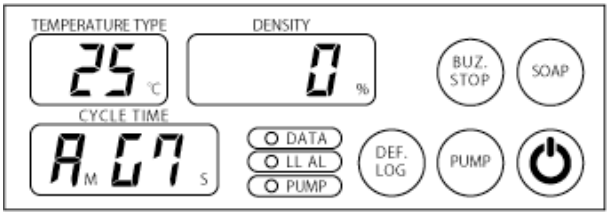
＊ 左が現在温度、真ん中が試料のアンプゲイン値（以下、AG値 導電性を数値化したもの）、右がAG出力（0～7 数値が大きいほど出力が大きい）となります。

(3) センサーをビーカーに汲んだ2Lの溶剤新液に沈め、
ソープキーで出力をAG7に切り換えます。

✳ 採取時の溶剤温度は20℃になるよう調整してください。



✳ センサー部の穴が空いている箇所が完全に沈むようにしてください。

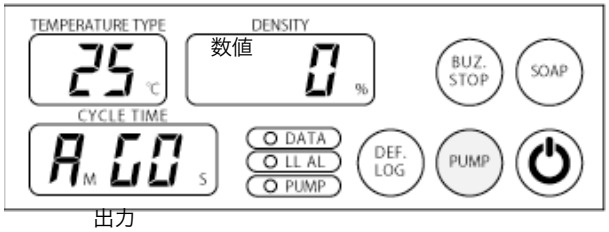


✳ 真ん中の数値が必ず「0」になることを確認してください。数字が出ている場合は、新液ではない可能性があります。

(4) 注射器でソープを2ml正確に計測し、試料に加えて
0.1%vol.追加した液を作り、良く攪拌します。

✳ 注射器に泡が入らないように注意してください。また、攪拌が悪いとデータの精度が落ち、センサー感度に悪影響を及ぼします。良く攪拌してください。

(5) AG出力を「0」に戻し、AG値を表の任意の箇所に
書き入れます。



出力

AG 表			
	0	1	2
0.0%	0	0	0
0.1%			
0.2%			
0.3%			
0.4%			

✳ AG出力が「0」、濃度が「0.1%」の位置にデータを書き入れます。

(6) ソープキーでAG出力を「1」に切り換え、同様に
AG値を表に書き入れます。

AG 表			
	0	1	2
0.0%	0	0	0
0.1%	1		
0.2%			
0.3%			
0.4%			

✳ AG出力が「1」、濃度が「0.1%」の位置にデータを書き入れます。

(7) 同様に「2～7」と順々に切り換えていき、それぞれのAG値を表に書き入れます。

AG 表								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
0.1%	1	2	4	8	16	32	64	128
0.2%								
0.3%								

(8) (4)～(7)を繰り返し、0.2%vol.時のAG値を採取、記録します。

AG 表								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
0.1%	1	2	4	8	16	32	64	128
0.2%	3	6	12	24	48	96	192	384
0.3%								

(9) (8)を繰り返し、0.3～1.0%vol.のAG値をそれぞれ採取、記録して表を完成させます。

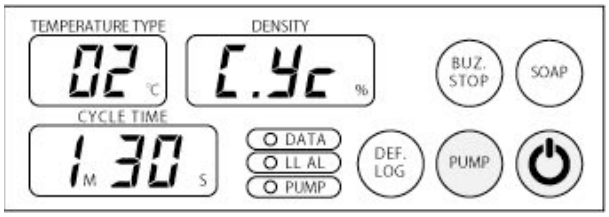
AG 表								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
0.1%	1	2	4	8	16	32	64	128
0.2%	3	6	12	24	48	96	192	384
0.3%	4	8	16	32	64	128	256	512
0.4%	5	10	20	40	80	160	320	640
0.5%	8	16	32	64	128	256	512	H--
0.6%	10	20	40	80	160	320	640	
0.7%	12	24	48	96	192	384	768	
0.8%	15	30	60	120	240	480	960	
0.9%	16	32	64	128	256	512	H--	
1.0%	18	36	72	144	288	576		

✶ 途中で「９９９」を超えた場合は「H--」と表示されます。

(10)再起動して運転モードに戻ります。

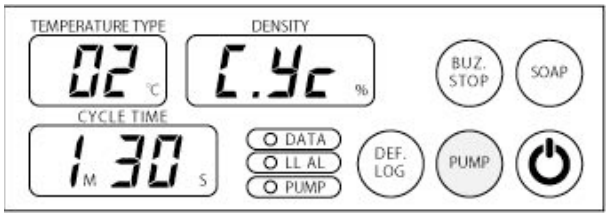
4. データ入力モード

(1) ポンプキーを押しながら起動するとデータ入力モードになります。



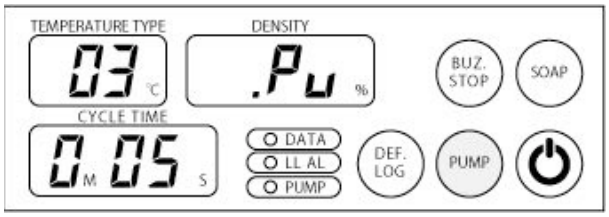
✶ ディスプレイは左から「ページ番号」「項目名」「設定値」の順になります。

(2) サイクルタイマーを設定します。

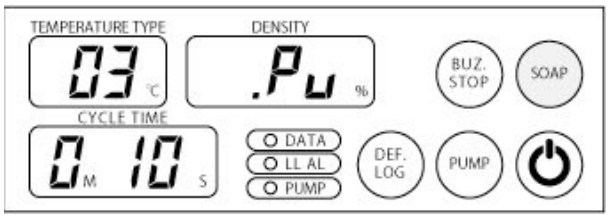


✶ ブザーキーを使って桁を変更し、ソープキーを使って数値を切り換えます。（以下、同じ）

(3) ポンプキーでページを次に進めます。

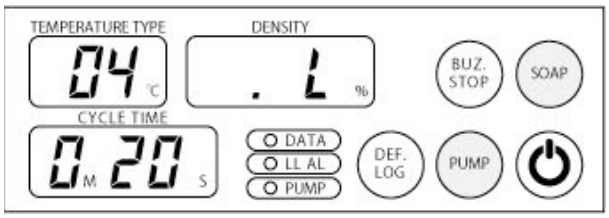


(4) 外部ポンプ出力時間を設定します。



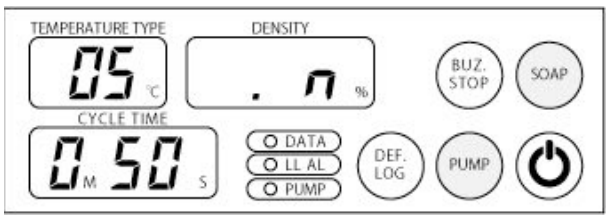
✶ 16KGクラスのドライ機で10s程度、それより大きい場合は時間を長く、小さい場合は短くします。1sあたりおよそ16mlのソープを移送します。

(5) 次に進み、低濃度を設定します。



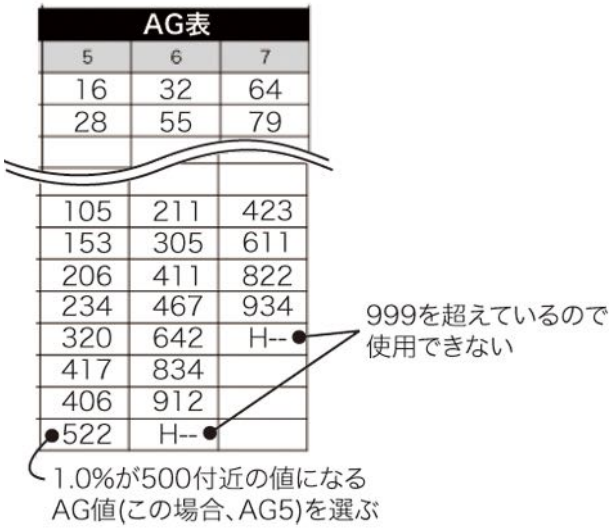
✶ この濃度未満となると、異常低濃度と判断してブザー音を発信します。0.2～0.25%程度がお薦めです。

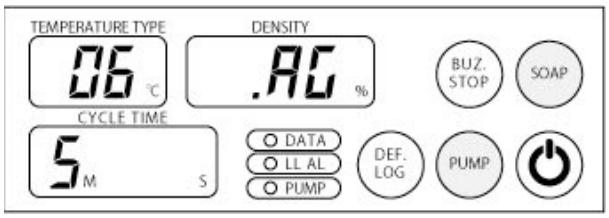
(6) 次に進み、目標濃度を設定します。



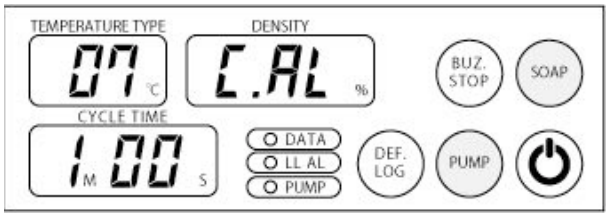
✶ 0.35～1.00%の範囲内での設定がお薦めです。

(7) 次に進み、AG出力をＡＧ表から選定して入力します。

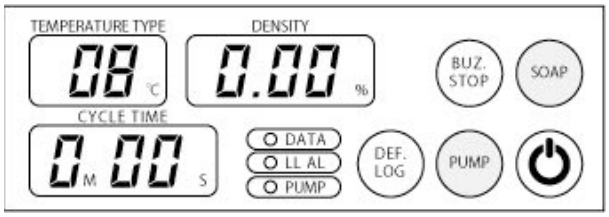




(8) 次に進み、キャリブレーション設定を行います。当初はここは「１００」（100%）に設定してください。

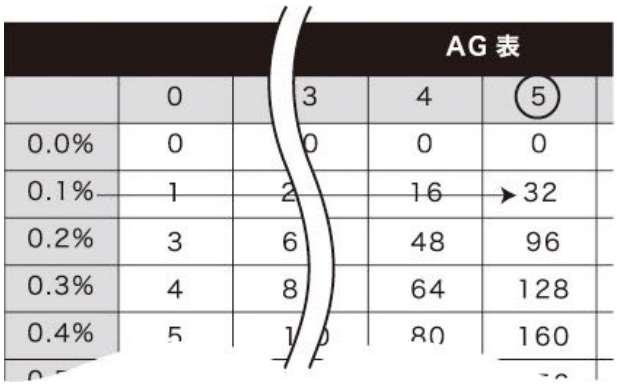


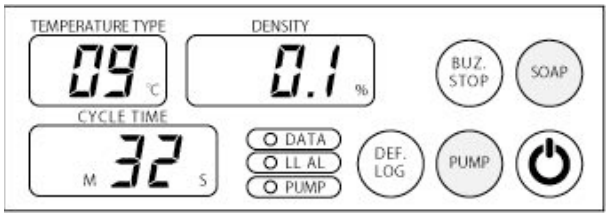
(9) 次に進み、0.0%時のAG値を「０００」に設定します。



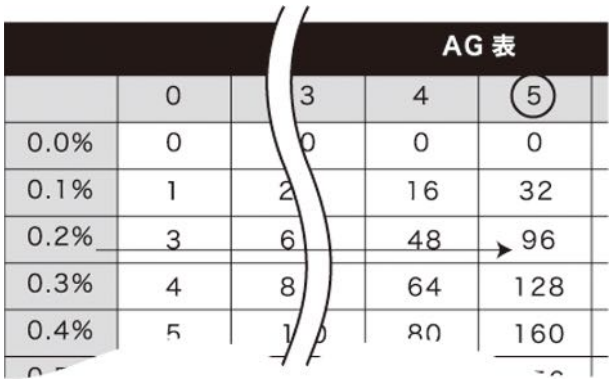
＊ デフォルトは「０００」になっているので変更不要です。

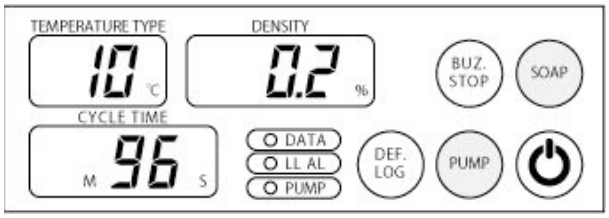
(10)次に進み、0.1%時のAG値を採取データから選んで入力します。



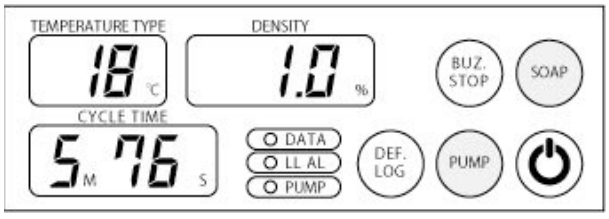


(11)次に進み、0.2%時のAG値を採取データから選んで入力します。

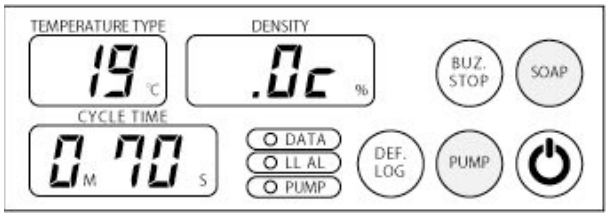




(12)(9)～(10)と同様に、0.3～1.0%のAG値を入力していきます。

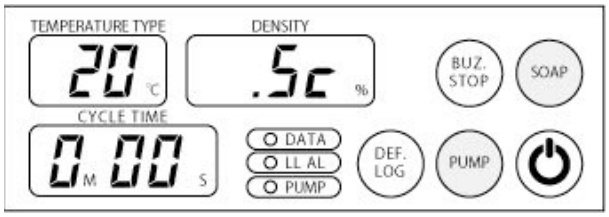


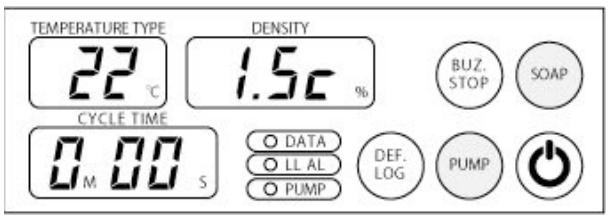
(13)次に進み、0℃時の温度補正データに「０７０」を入力します。



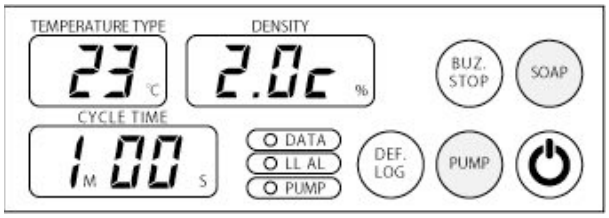
＊ ここでは基本補正に設定します。正確な補正データが必要な場合は当社までデータ作成を依頼してください（有料）。

(14)次に進み、5～15℃時の温度補正データを「０００」と入力します。

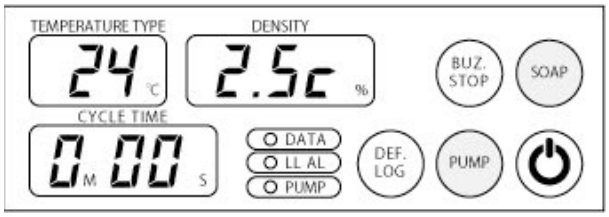


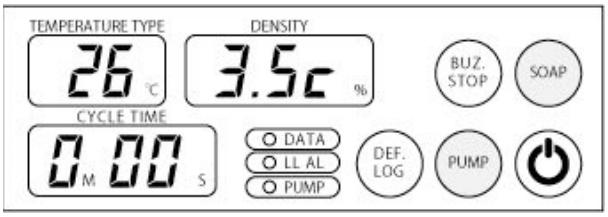


(15)次に進み、20℃時の温度補正データに「１００」を入力します。

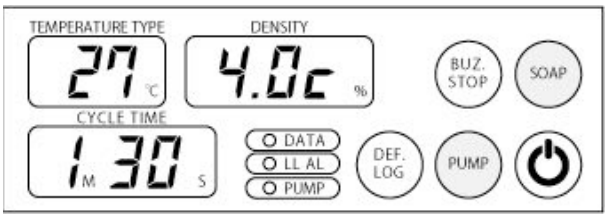


(16)次に進み、25～35℃時の温度補正データを「０００」に設定します。





(17)次に進み、40℃時の温度補正データに「１３０」を入力します。



＊ 最後に必ずポンプキーを押し、サイクルタイマー設定画面に戻ってください。

(18)再起動して運転モードに戻ります。

(19)1.0%vol.の溶剤を作成し、センサー部を沈めて濃度が1.0%±0.05以内に収まっていることを確認します。

＊ 1.0%±0.05以内に収まらない場合は、採取時の温度が20℃から著しく離れている可能性があります。データ採取時は溶剤温度が20℃前後になるようにしてください。

6. SDカードからデータを取得する

SDカードには、「SOAP」フォルダの中にソープの基本データを保存した「SOAP_P90.CSV」ファイルが入っています。

SOAP > SOAP_P90.CSV

このデータをPCで編集し、本機に戻して読み込ませることで、本機のデータを書き換えることができます。

1) 電源をOFFにし、SDカードをプッシュして取り外します。

2) SDカード内のファイル（ SOAP > SOAP_P90.CSV ）をPCの表計算ソフト（ExcelやOpenOfficeなど）で編集します。

＊ 文字コードは必ずShift-JIS形式、改行コードはCR+LFで保存してください。他の形式で保存すると、内蔵メモリに正常に書き込めなく鳴ることがあります。

3) SDカードを奥まで差し込み、電源をONにします。

4) 運転モード時、データログキーを押しながらブザーストップキーを押すと、「ピピッ」と音が２回鳴り、SDカードのデータを本機に読み出します。

＊ エラーが表示される場合、「SOAP_P90.csv」に正しいデータが入っていない恐れがあります。デフォルトデータを当社にお求めください。

7. SDカードへデータを転送する

本機に書き込んだデータや、本機内に蓄積された温度／ソープ濃度のログデータをSDカードへ転送することができます。このデータを元に、表計算ソフトで溶剤管理の状態をグラフ化することができます。

1) 電源をONにします。

2) 運転モード時、データログキーを押しながらソープキーを押します。「ピピッ」と音が２回鳴り、SDカードへ本機の基本データと蓄積された温度／ソープ濃度のログデータを書き出します。

＊ 本機内のメモリがいっぱいになると、自動的にデータをSDカードへ書き込んで本機内のメモリを空にし、再度、データを蓄積し始めます。蓄積されている間はSDカードへデータを書き出していませんので、必ずSDカードを取り出す前に書き出しを行ってください。

8. キャリブレーションについて

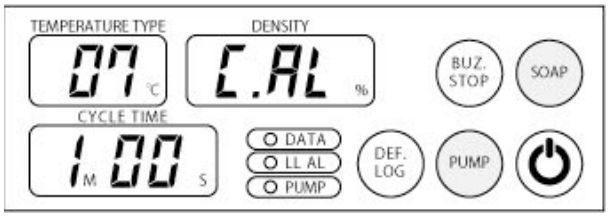
本機の濃度は体積抵抗率の逆数（導電率）を元に算出しているため、溶剤中の不純物が増えると、イオン成分が増えることにより、Epton法など残留イオンを試薬で抽出する測定方法と濃度数値に誤差が生じる場合があります。

この場合、本機のキャリブレーション機能で濃度を補正することができます。

＊ キャリブレーションを行うと、実際の濃度より薄い（体積抵抗率が高い）状態になります。この場合、静電気が起こりやすくなったり、再汚染や逆汚染が起こる場合があります。少しでもおかしな兆候が見られた場合は、必ずキャリブレーションを解除（元に戻す）してください。

1) プログラムモードから「キャリブレーション設定」のページを開きます。

＊ P12参照。



2) 左下の数値が補正割合となります。例えば、本機の濃度数値が0.5%、試薬測定での数値が1.0%だった場合、試薬測定の結果が本機の2倍（200%）なので、数値を「２００」とします。

3) 本機を再起動します。

消耗品について

消耗品と耐用時間は下記の通りです。
（時間は述べ稼働時間を表します。）

✤センサー部パッキン類 ——— 6000時間
✤チューブ配管 ——— 50時間
✤ポンプパッキン類 ——— 200時間
✤ポンプ ——— 10000時間

使用上の注意

・本機を直射日光のあたる場所に設置しないでください。火災の原因となります。
・通風孔は塞がないでください。事故や火災の原因となります。
・本機内部に液体をこぼさないでください。事故や火災の原因となります。
・センサー部は３ヶ月に１回以上、石油系溶剤新液で洗浄してください。（石油系溶剤以外の液体で洗浄すると、故障の原因となります。）
・石油系溶剤以外には、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
・センサー部の取扱いは、必ず金属部を持って行ってください。線を持つと、断線の恐れがあります。
・本機またはセンサー部を高さ１５㎝以上の位置から落としたり、またはそれと同等の衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
・本機内蔵のポンプからソープが漏れた場合は、必ず本機のポンプスイッチをＯＦＦにし、ご購入先の販売店または当社までご連絡ください。

不具合が生じた場合

ご連絡される前に、もう１度以下の点検を行ってください。

運転モード	
症状	**チェック項目**
表示が出ない	・ コンセントをしっかり差し込んでください。 電源スイッチをONにしてください。
ソープ濃度の表示が高い（下がらない）	・ センサー部にヘドロなどが詰まることがあります。センサー部を取り出して、石油系溶剤で洗浄してください。 ・ ドライ機のィルターが古くなった場合、フィルターが含んだソープが吐き出され、濃度が上昇することがあります。 ・ ソープと溶剤の組み合わせによっては、ソープが溶け込まず、ドライ機ベースタンク内で沈殿し、ソープ濃度表示が高く表示されることがあります。ドライ機内の洗浄液を攪拌してください。
Er.1	・ 濃度が異常に高いか、センサーにゴミが付着しています。 ・ センサー部を液中から取り出し、濁いた柔らかい布などで拭き取ります。再度液中に浸漬させる前に、濃度表示が０．００%になっていることを確認してください。
ポンプが作動しない	・ ソープ濃度表示が目標濃度未満になっているにもかかわらず、サイクルタイマーが0m00sになってもポンプが作動しない場合は、ポンプまたは内部故障の可能性があります。ご購入先の販売店または当社までご連絡ください。
ソープ濃度表示が低い （上がらない）	・ カートリッジフィルターを交換した場合、ソープがフィルターに急激に吸着するため、投入量が一時的に間に合わない場合があります。P3の"使用上の注意"を参考に、手動でソープを投入してください。 ・ 通常運転中にソープ濃度が低くなる場合は、ソープ投入量の設定時間が短すぎる場合があります。当社またはご購入先の販売店までご連絡ください。
ポンプからソープが漏れる	・ ただちにポンプスイッチをＯＦＦにし、当社またはご購入先の販売店までメンテナンスをご依頼ください。

データ入力モード	
症状	**チェック項目**
E2　※プロフラムモード時	・ＡＧデータ入力異常です。 ・ＡＧデータの入力に誤りがあります。０．０≦～１．０％となっていることを確認してください。また、ＡＧデータがすべて"０００"またはオールクリアされた場合は、ＡＧデータを入力してください。
E3　※プロフラムモード時	・温度補正データ異常です。 ・温度補正データは20℃を基本値とし、0℃と40℃にデータが設定されている必要があります。
E4　※プロフラムモード時	・低濃度より目標濃度の設定が低くなっています。
E5　※プロフラムモード時	・サイクルタイマーより外部ポンプ出力時間が長い設定になっています。

※ここの項目にないトラブルや、対応しても修復できなかった場合は、当社またはご購入先の販売店にご連絡ください。ただし、修理を必要とする場合、保証期間後は有償となります。

規格・仕様

品名	ソープコントローラー
型式	PSCW-9
寸法	(W)160 ×(D)260×(H)80　※突起部除く。
溶剤の種類	石油系溶剤
総重量	2kg
外部ポンプ	100VAC 50/60Hz
消費電力	10W
使用電源	100VAC 50/60Hz

※規格・使用は改良のため、余儀なく変更することがあります。ご了承ください。

製品保証書

商品情報	
《商品名》	ソープコントローラー
《型式》	PSCW-9
《製造番号》	No.
《保証期間》	設置後1年間
《販売日》	年　　月　　日
販売店情報	
《販売店名》	
《所在地》	〒
《連絡先》	
《担当者名》	
保証規程	
《初期不良》	ご購入から7日以内に故障した場合は初期不良扱いとなります。初期不良の場合は新品とお取り換えいたしますので、販売店にお申し出ください。
《保証修理》	リコール対象品以外は、ご購入後1年間となります。初期不良期間を過ぎて保証修理期間内に故障した場合は無償修理いたします。販売店にお申し出ください。
《保証対象外》	1. 保証期間内であったとしても、本書の注意事項に添わない使用方法を行った場合は保証対象外となります。 2. 分解、改造などの痕跡があった場合は、保証対象外となります。 3. 天災や火災など二次的要因による故障は保証対象外となります。 4. 上記の販売店名および販売日に記入がない場合は、保証対象外となります。 5. ご購入者が購入後、第三者へ販売または譲渡した場合は、所有権の移動および移設工事の申請を必ず当社へ行ってください。また、その際の保証期間は最初のご購入者が購入した日を起算とします。
《保証期間後の修理》	すべて有償修理となります。販売店または当社までご連絡ください。
《法定修理期間》	原則として、修理部品の在庫期間は同型商品最終販売日から10年間です。
《本書の保管》	本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

SOAP CONTROLLER PSCW-9

年　月　日

使用者情報	店名	代表者名
	所在地 TEL	

設定内容	製造 No.	溶剤名	ソープ名
	ファイル No.	サイクルタイム　m　s	外部ポンプ出力　m　s
	低濃度　%	目標濃度　%	採取時温度　℃

AG 表

	0	1	2	3	4	5	6	7
0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0
0.1%								
0.2%								
0.3%								
0.4%								
0.5%								
0.6%								
0.7%								
0.8%								
0.9%								
1.0%								
0℃								
5℃								
10℃								
15℃								
20℃								
25℃								
30℃								
35℃								
40℃								